

一般社団法人山口県医師会平成27年度第12回理事会

平成27年9月17日(木) 午後5時～午後6時58分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・林・加藤・藤本・今村常任理事、沖中・香田・中村・清水・原・船津理事、山本・藤野監事

協議事項

1 第1回郡市医師会会長会議について

10月29日開催の郡市医師会会長会議の日程及び議題について協議を行った。

2 平成28年度特定健診の標準単価について

今年度は診療報酬の改定が行われないことから、平成28年度の標準単価は変更しないことが了承された。

3 認知症サポート医養成研修派遣者の推薦について

山口県健康福祉部長寿社会課より、国立長寿医療研究センターが実施する今年度の研修受講者について推薦依頼があり、船津理事ほか2名を推薦することに決定した。

4 専門医制度に関する要望書の提出について

平成16年度に始まった新卒後臨床研修制度により山口県内は多くの医師が流出し、若手医師の激減、県内医師の高齢化に陥っているところである。また、平成29年度から予定されている新専門医制度の運用によっては、更に県内の医師不足に拍車がかかることが予想されることから、勤務医部会長より、山口大学医学部附属病院長宛に専門医制度に関する要望書を提出することが提案され、了承された。

人事事項

1 山口県医師会医療事故調査委員会の委員委嘱について

10月1日から施行される医療事故調査制度により設置が必要な標記委員会において、専門領域の調査に対応する委員(36名)の委嘱について協議し、承認された。

報告事項

1 郡市医師会妊産婦・乳幼児保健担当理事協議会・関係者合同会議(9月3日)

郡市医師会担当理事、県、市町担当者、本会による合同会議を例年どおり開催した。山口県健康増進課より平成25・26年度麻しん予防接種実施状況、予防接種法の改正、現在、日本が麻しん排除状態にあること等の報告があり、その後、平成28年度妊産婦・乳幼児健康診査における参考単価、広域予防接種における個別接

種標準料金について協議を行った。また、今年度よりインフルエンザワクチンが3価から4価に変更になることから、今年度の広域における高齢者インフルエンザ予防接種料金の算定の経緯について説明を行った。(藤本)

2 山口県知事への要望 (9月3日)

7月17日付で厚生労働省より各都道府県へ地域医療介護総合確保基金(医療分)の今年度分第1回目の内示がされたが、その額は要望額と乖離しているものであった。このままでは本県の地域医療の確保に向けた各種事業が実施できないおそれがあることから、小田会長、濱本副会長、河村専務理事、弘山常任理事が村岡知事と面会のうえ、県における財源確保と国へのさらなる働きかけを行ってほしい旨の要望書を手交した。(小田)

3 個別指導「山口市」(9月3日)

診療所6機関について実施され立ち会った。(船津)

4 地域医療構想策定協議会第2回会議「萩(9月3日)」「岩国(9月10日)」

山口県医療政策課より、医療需要の推計結果及び医療需要を踏まえた医療提供体制の検討について、全国一律の計算式による推計値が目標とすべき目標値であるとの説明が行われ、その後、構成員により意見交換及び質疑応答があった。

(弘山・香田)

5 山口県医療事故調査支援団体事務連絡協議会(9月4日)

10月1日から施行される医療事故調査制度の調査体制構築に向けて、厚生労働大臣から告示された県内10支援団体により、各支援団体の医療資源の確認及び情報交換等を行った。(林)

6 第137回山口県医師会生涯研修セミナー(9月6日)

午前中は、山口大学大学院医学系研究科呼吸器・感染症内科学分野の松永和人教授による「喘息治療の進歩と今後の課題」、山口県健康福祉部医療政策課の國光文乃 課長による「山口県における地域医療構想(ビジョン)について」、午後は、山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学分野の永野浩昭 教授による「肝移植—今、知っておきたいこと—」、埼玉医科大学病院麻酔科の中山英人 教授による「てんかんと麻酔」の特別講演4題が行われた。医師、薬剤師等126名が出席。(河村、今村)

7 勤務医部会第2回企画委員会(9月7日)

平成27年度実施事業である、市民公開講座、座談会、医療クレークの活動支援、医学生への啓発事業等についての協議、山口大学に対する専門医制度に関する要望書提出の検討を行った。(加藤)

8 山口県共同募金会第2回評議員会（9月8日）

平成27年度共同募金の目標額、受配者の範囲及び配分方法・配分計画、欠員役員及び欠員配分委員の選任等の審議が行われた。（事務局長）

9 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会（9月9日）

審査委員の委解嘱、平成27事業年度社会保障・税番号制度会計収入支出予算等について報告が行われた。（小田）

10 第2回健康教育委員会（9月10日）

今年度作成する健康教育テキスト「ウイルス肝炎」の検討及び次回テキストのテーマ等について協議を行った。（藤本）

11 医療事故調査委員・郡市医師会医療事故調査担当理事合同協議会（9月10日）

医療事故調査制度の施行に向けて、「医療事故調査制度の概要について」（山口県医師会 林 弘人 常任理事）、「予期せぬ死亡の原因究明について」（山口大学法医・生体侵襲解析医学分野 藤宮龍也 教授）、「医療事故調査制度について」（日本医師会 松原謙二 副会長）の講演3題を行った。（林）

12 新規第1号会員研修会（9月10日）

本会の組織・事業・会員福祉、医事紛争対策及び医療保険等について説明を行った。出席者27名。（河村）

13 第1回山口県要保護児童対策地域協議会・代表者会議（9月10日）

要保護児童対策の現状と取組み、児童虐待防止対策の推進、里親委託の推進について協議を行った。（濱本、藤野）

14 社会保険医療担当者集団指導（9月10日）

中国四国厚生局及び山口県の共同による各種集団指導と併せて、本会が全医療機関を対象に実施する集団指導（隔年出席制）を山口市で開催した。本年度より県内3か所（周南市、下関市、山口市）での開催。（萬）

15 山口県福祉サービス適正化委員会第92回苦情解決部会（9月11日）

平成27年4～8月の苦情相談等の受付状況及び現況等について協議を行った。
(今村)

16 勤務医部会 医師事務作業補助者連絡協議会（9月12日）

県内11病院の医師事務作業補助者により、各病院における勤務状況等について情報交換後、今年度事業のスキルアップ研修及びフォーラムの企画内容について協議を行った。（中村）

- 17 地域医療介護総合確保基金（医療分）の確保に関する緊急要望（9月14日）
知事、医療政策課長及び4団体の長（県医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会）において、地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る平成27年度留保分（第2回）の早期内示と今後の基金スキームの見直しについて、県選出国會議員及び財務省、厚生労働省に面会し要望を行った。（小田）
- 18 日本医師会第6回理事会（9月15日）
平成27年度日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考、ORCA事業、平成27年度日本医師会予算補正等について協議を行った。（小田）
- 19 第2回都道府県医師会長協議会（9月15日）
横倉義武 会長挨拶に続き、茨城県・栃木県・宮城県会長から台風第18号による大雨に係る被災の状況報告と見舞い等に対するお礼の挨拶があり、その後、本会提出の「在宅専門診療所の要件緩和について」ほか8県医師会から提出された質問・要望に対して担当役員から回答が行われた。また、日医より、マイナンバーと医療等IDについて説明が行われた。（吉本）

医師国保理事会 第10回

1 一般社団法人全国医師国民健康保険組合連合会設立記念祝賀会について

（9月16日）

本年8月に一般社団法人化したことを記念して、日本医師会館で祝賀会が開催され、日本医師会横倉義武 会長等の祝辞があった。（小田）

2 第14回「学びながらのウォーキング大会」について

平成27年11月23日（月・祝）に徳山医師会館で開催する標記ウォーキング大会の特別講演講師、ウォーキングコース等を協議、決定した。